

北仙台駅

周辺地区



- ・かつて大規模な工場が立地する住工混合の地区でしたが、工場の移転を契機として市街地再開発事業などが行われ、現在は集合住宅や業務施設、公共施設が建ち並ぶ市街地となっています。
- ・北仙台駅舎をはじめレトロな雰囲気のある飲食店や商店街も残っており、多くの寺社も立地するなど、昔ながらのあたたかみも感じられる地域です。

まちのトピックス

北仙台商会会の取り組み

東日本大震災を契機にまちを訪れる若者が増えた北仙台エリア。春と秋に仙台浅草で行われるフリーマーケット、夏は杜の都信用金庫の駐車場で開催される北仙台夏祭りなどの行事を主催し、まちのにぎわいを後押ししています。



仙台・青葉まつり青葉神社神輿渡御

伊達政宗公を祀る青葉神社神輿渡御は、仙台・青葉まつりの本まつりに行われる「時代絵巻巡行」の見どころとなっています。新型コロナウイルスの影響で中止となっていた仙台・青葉まつりは、2022（令和4）年に3年ぶりに開催されました。



無電柱化の推進

安全で快適な歩行空間を確保するため、北仙台駅と県道仙台泉線を結ぶ区間の道路（北仙台停車場線外1線）が無電柱化を進める道路に指定されました。



地区の魅力・資源

北山五山

北山五山とは仙台城下を守る鬼門封じや関門として築かれたとされる5つの寺院の総称です。そのうちの一つ、光明寺には支倉常長の墓があります。気軽に寺院巡りができ、歴史を感じることができるエリアです。



青葉神社

御祭神は武振彦命（伊達政宗公）で1874（明治7）年に伊達家の旧家臣団が中心となって創建された神社で、本殿、拝殿含む6棟が、国の登録有形文化財になっています。



仙台浅草

1958（昭和33）年に誕生した仙台市電北仙台線の終着駅にあった日用品市場「北仙台駅前交易センター」が前身の東西約100メートルの横丁で、通りを挟んで二軒ある長屋に、飲食店を初め、洋菓子店や八百屋、鮮魚店など約30店舗が軒を連ねています。



JR北仙台駅

1929（昭和4）年に開業したレトロな雰囲気が魅力的なJR仙山線の木造駅舎です。何度か改装を経ているものの、そのモダンで趣のある姿は開業当時から変わらないままです。



仙台市武道館・青葉体育館

大規模工場の郊外移転に合わせ、業務施設や都心居住型住宅とともに、2000（平成12）年に市街地再開発事業により整備された生涯スポーツの拠点となる体育施設です。

将来のまちの姿

ノスタルジックな風情と 利便性を兼ね備えた、 個性あるまち

昭和の風情を感じる商店街や多くの社寺など、豊かな地域資源との調和を図りながら都市環境を維持・改善するとともに、JR駅を有する充実した交通基盤や都心に近い利便性を生かしていくことで、駅を中心に便利で暮らしやすく、個性あるまちの形成を目指します。



該当する施策展開の方向性

- 方向性① 持続可能で日常生活を安全安心に過ごせる市街地環境の形成
- 方向性② 駅を中心に便利で移動しやすい住宅地や交通環境の形成
- 方向性③ 暮らしの質を高める美しい街並み景観の形成
- 方向性⑦ まちづくり団体や地元商店街による地域の活性化

取り組み施策



短期 2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 中期 2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 長期 2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 継続 計画期間中、継続して取り組む施策

短期 2023（令和5）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 中期 2026（令和8）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 長期 2030（令和12）年度までに具体的な取り組みや検討を行う施策
 継続 計画期間中、継続して取り組む施策